

# 6. 旧北上川左右岸下流のルート、拠点、ポイント

## 6-1 旧北上川左右岸下流のポイント

旧北上川左右岸下流の位置



- 門脇から住吉界隈は、舟運時代に入船出船そして蔵が立ち並び栄えた地域であり、ところどころに当時の面影が残る地域であった。(石巻絵図に当時の繁栄ぶりが描かれている。)
- 震災により川沿いや中瀬は壊滅的な被害を受け、無堤地区だった旧北上川沿いには新たに堤防が整備される。
- 震災前の川沿いにはプレジャーボートやヨットなどの船舶が停泊していたが、現在は既に係留船が川沿いに戻りつつある(不法係留船)。
- 住吉公園は、昔からの石巻を代表する観光スポットであり、「袖の渡し」や「芭蕉の参詣」などの物語を今に残している。
- 中瀬は、石巻を代表する観光ポイントとして石ノ森萬画館をはじめ多くの観光施設があり、家族連れなどで賑わっていたが、津波により壊滅的な被害を受けており、再生が必要となっている。
- 左岸側はかつては漁港が立地し、造船のまちの姿が今に残されている場所であった。震災後は新たに産業集積地区及び居住地域となる。



昭和時代に門脇と湊を往復していた渡船

石巻絵図



震災後の内港地区と係留船



震災前後の中瀬



震災前



震災後

H23.10撮影

震災前



旧北上川右岸

震災後



津波により川沿いのまちなみが失われた。

雄島と住吉公園



震災後に残った造船所



震災前の中瀬のイベント



内海橋下流の復興マルシェの賑わい



ルート  
**2**  
ルートテーマ

いにしへの石巻湊と賑わいを訪ねる  
「旧北上川と石巻湊ルート」

ルート  
方向性

- 人々が集い、安全に快適に水辺と緑を感じながら散歩できるルート
- 中心市街地からの観光周遊やプロムナードの各拠点間の回遊性を確保するとともに水辺に近づきやすいように配慮
- 移動途中で休憩し、水辺の景色を眺められるように配慮
- プロムナードから親水空間に行き易いように工夫する。(階段やスロープ)
- 水辺に親しむ・変化をもたせる・植栽等などの工夫をする。

水辺の現況

- 現在は満潮時の浸水被害に対して、応急対応として浸水防止壁が整備されており、今後は川沿いに地震・津波・高潮に対して粘り強い堤防が整備される。
- 河岸の道は内海橋から門脇方面へ行く幹線路のため交通量が多く、また現状は歩道が無いため安全に歩くことは厳しい。



砂利道で歩道がなく、安全に散歩することは厳しい。



川沿いにはT.P.+4.5m～7.2の新たな堤防が整備される。

ルートイメージ

距離標を設置して現在位置がわかり、また歩く目安となるよう配慮

夜間でも通行可能なよう等間隔に照明を設置(ライトアップ)

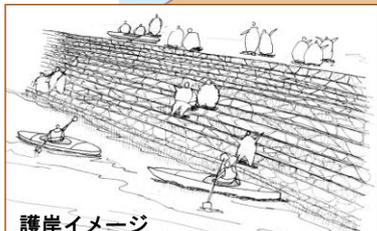
安全管理のため転落防止柵を設置

T. P. +4.500m

※もし人が落ちた時に上がってこられるよう梯子や浮環を等間隔で設置

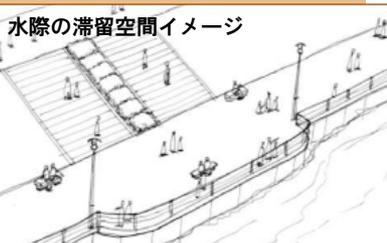
ポイントに行きやすいよう階段やスロープを設置

部分的に追加盛土を行い、植栽・ベンチを設置



護岸イメージ

一部には水辺に触れることができ、昔の石積護岸を思い出すような護岸を設置する



水際の滞留空間イメージ

水際の景観を楽しめるよう部分的に滞留空間を設置・水辺の変化を持たせる

※堤防や護岸はイメージであり今後の検討によって変更があり得ます。

向  
実  
け  
現  
に

- 国で整備する河川堤防と調整を図り、プロムナード計画に基づく施設の配置計画や水辺の工夫等、具体を検討していく。
- 利用者、管理者等の中で施設や空間、スペースの利用ルール・管理区分等を調整していく。

利  
活  
用  
方  
策

- 門脇や住吉地区は、江戸から明治にかけて千石船やひらた船が接岸した石巻湊の中心地であり、被災を免れた史跡を探访することができる。
- 石巻の既存の散策路や堤防上では散歩やウォーキングを楽しんでいる方を多く見かける。休憩施設や親水空間へ行きやすい工夫を整備し、住民の憩いの場を創出する。



史跡探訪のイメージ



ウォーキングイメージ

- 水辺の緑を創出・管理するため、町内会等により水辺愛護会(仮称)を結成し、河川清掃や植栽管理(植栽ポット)を推進。



植栽ポットイメージ



河川清掃イメージ

- 水辺を散歩しながら旧北上川や水辺の環境などを学べるような施設を検討。
- 人々に安らぎを与える景観やデザインに配慮
- 中央街区付近は観光拠点の場として歩きやすい木材チップ等の舗装を施し、夜間の安全にも寄与する照明やフットライト等を検討する。
- ルート・拠点間の移動を容易にするため、安全を確保した上でサイクリングロードとしても活用する(レンタサイクルの発着所を整備)



憩いの空間イメージ



夜間のプロムナードイメージ

いにしへの石巻湊と賑わいを訪ねる  
「旧北上川と石巻湊ルート」

利 活 用 方 策

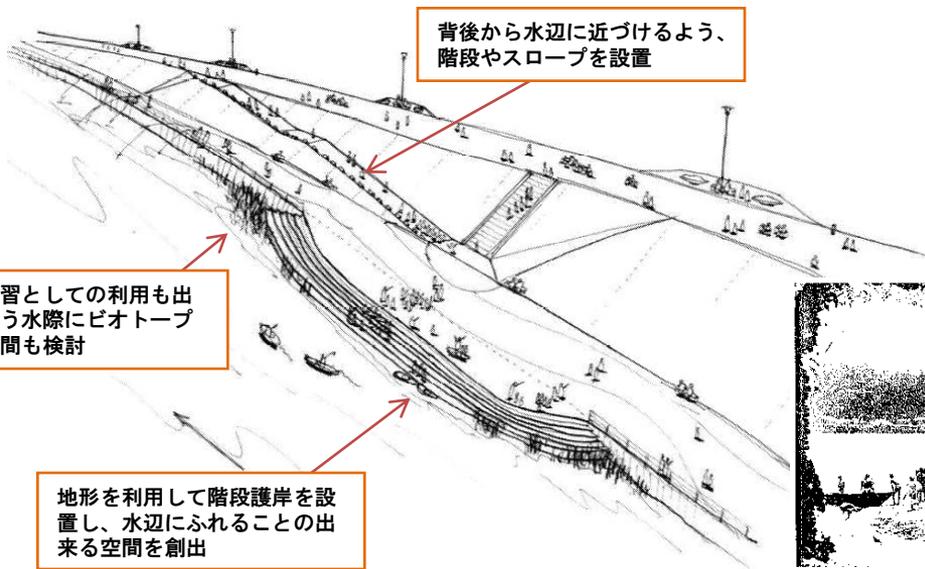
- 小学校の環境学習の場(水辺の楽校)として、旧北上川の歴史や、河川環境を学ぶイベント等の開催を検討
- カヌー教室・川下りイベントや学校の漕艇部等の発着所としての活用を検討



環境学習の例(生物調査)

親 水 空 間 イ メ ー ジ

- ◆ 例えば、住吉小学校付近に水際に突き出した部分が残される空間がある。これを利用して、階段護岸の設置等により親水空間を創出するとともに、小学校の環境学習等としての利用も可能とする。



背後から水辺に近づけるよう、階段やスロープを設置

環境学習としての利用も出来るよう水際にピオトープ的な空間も検討

地形を利用して階段護岸を設置し、水辺にふれることの出来る空間を創出

親水空間の創出イメージ

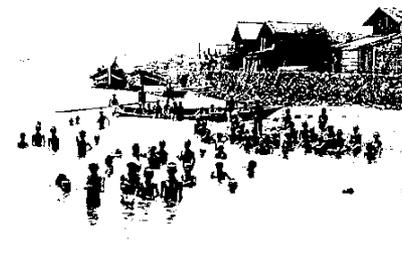


現 況

※堤防等はイメージであり今後の検討により変更があり得ます。



写真提供 藤井 幸祐 大正初期の北上川右岸 住吉小学校前



当時、北上川で泳ぐ住吉小学校の児童達(昭和初期)

大正・昭和初期の住吉小学校での河川利用の様子

- ◆ 住吉周辺の水辺では、大正から昭和初期にかけて住吉小学校の児童が学校前の河原で水泳を楽しんでいた歴史がある。

「石巻地方研究 第4号」 「目で見える石巻・桃生・牡鹿の100年」より